



この講座は、忙しい同人作家・プロ作家さんたちが、今のアナログでの作業から、スムーズにデジタル移行できるよう、要点を絞ってお届けします。コミスタの基礎的な知識は他の講座にお任せし、とにかく早く・便利に・今すぐ実用的にComicStudioを使って頂ければうれしいです。

第1回 まずは最初に準備!

ペン入れまで終わったアナログ原稿をスキャンし、ComicStudioに読み込みましょう。

事前に準備する物

デジタル機材

- ComicStudioをインストール済みのPC
※ComicStudio各製品の動作環境は、ComicStudio 4.0製品情報をご覧ください。
<http://www.comicstudio.net/cs40/>
- スキャナ
TWAIN32対応のフラットベッドスキャナ
- プリンタ
なくてもOKですが、モニタだけではイメージがつかみにくい人は、試し刷りに使える程度の性能のプリンタがあると便利です。印刷した物が必要な人は、実解像度600dpi以上のA3モノクロレーザープリンタ推奨。
- タブレット
A5サイズ以上の筆圧感知付きがオススメ。
ハガキ (A6) サイズの筆圧感知なしの物があれば、慣れるまではそれでも十分です。

アナログ原稿

- ペン入れまで終わった原稿
※今回はこの講座用に、教材として原稿データを用意しました。実践で慣れるため、この講座では教材を使って、同じ漫画を一緒に制作してみましょう。

WEBサイトより教材データをダウンロードしてお使いください。

URL <http://www.comicstudio.net/cs40/lecture/quick/>

ComicStudio用アナログ原稿を描くポイント

原稿の枠線・フキダシについて

枠線・フキダシ・セリフは、ComicStudioの方が、断然早く・綺麗に出来ますが、慣れないうちは、いつも通りペン入れの段階で枠線・フキダシを入れてしまってもOKです。ComicStudioに慣れたら、枠線・フキダシの無い原稿にするとよいでしょう。



いつもの原稿



枠線・フキダシのない原稿

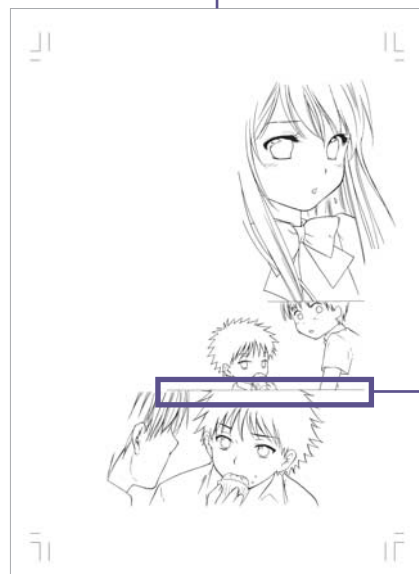
ComicStudio用原稿の例

教材データを例に、ComicStudio用アナログ原稿を書くポイントを解説します。

トンボの位置を書く
(ComicStudioで位置を合わせるため)



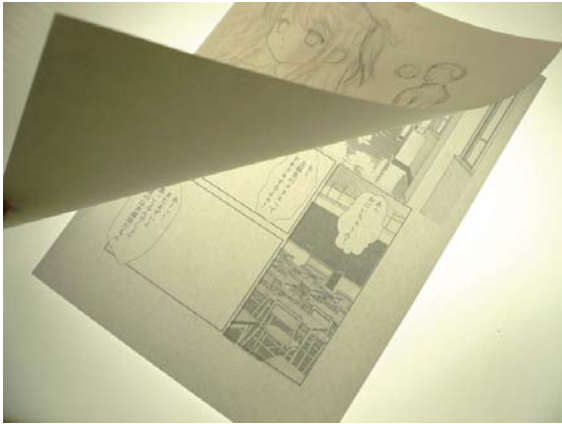
断ち切りの絵や、後で位置をずらす絵は、別の紙に描く



枠線で区切られる絵と絵の間に、線を描いておくとはみ出しにくい

参考例

ComicStudioに慣れたら、先にフキダシ・枠線を作ってしまう、原稿用紙にトレースして描くと良いかも。



※背景に使う画像なども先に用意すると、人物の絵が入れやすい。

ComicStudioを開いて、準備

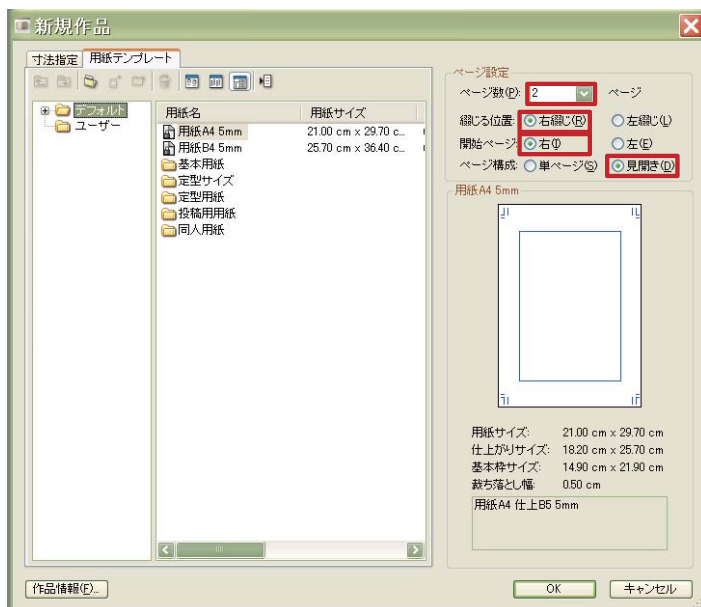
まずは、コミスタの中で原稿用紙を準備します。

[ファイル]メニュー→[新規作成]→[作品]を選択



新規作成の「作品」と「ページ」の違い…
「ページ」は1枚だけのイラストや1枚漫画。
「作品」は、数ページの漫画作品の意味です。

用紙テンプレートを選びます。

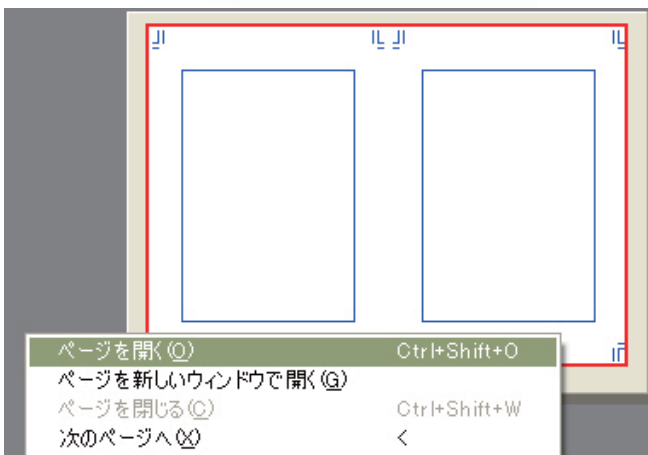


- ・今回の教材は同人誌サイズなので、[デフォルト]→[用紙A4]です。
 - ・見開き2ページ漫画なので、「開始ページ」は右。(左を選択すると端数ページは単ページになります。)
- ※[見開き]は、ComicStudioPro / EXのみの機能です。

これで、A4サイズ・見開き2ページ漫画の原稿用紙が、コミスタの中に準備できました。(B4サイズ・16ページ漫画の場合なら、用紙やページ数の設定を変えるわけです。) [ファイル]→[保存]で、ComicStudio形式データを保存します。保存名は「コミスタ講座」など、適当な名前をつけます。

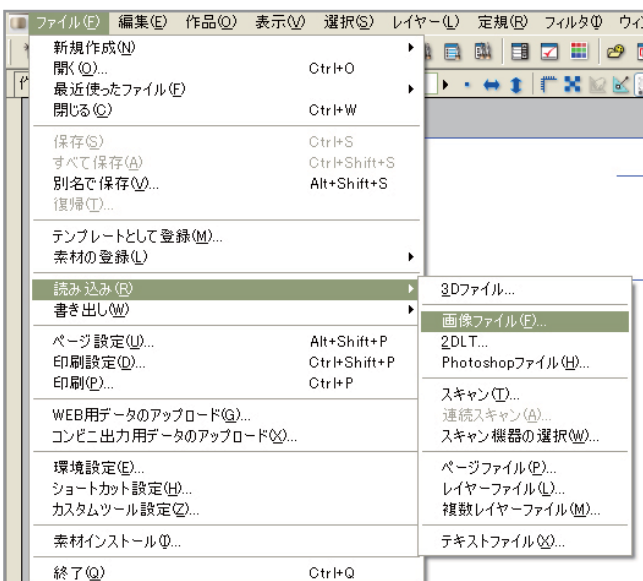


教材画像を読み込む

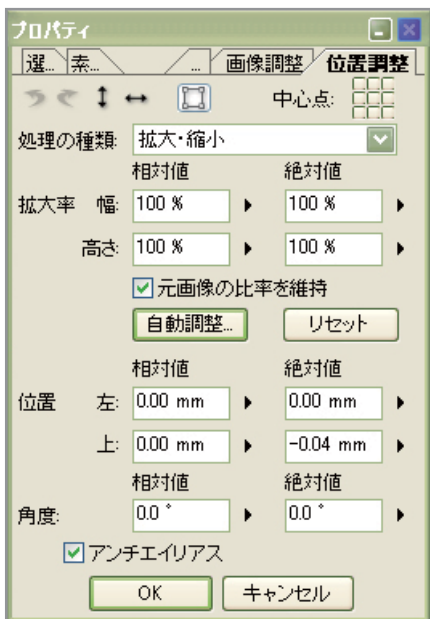


ComicStudioでページを開き、教材データを読み込みます。ページ上で右クリック(もしくはダブルクリック)し、開きます。

[ファイル]→[読み込み]→[画像ファイル]で、教材データの保存先を開き、「lesson_01」フォルダから「1p.jpg」を選びます。

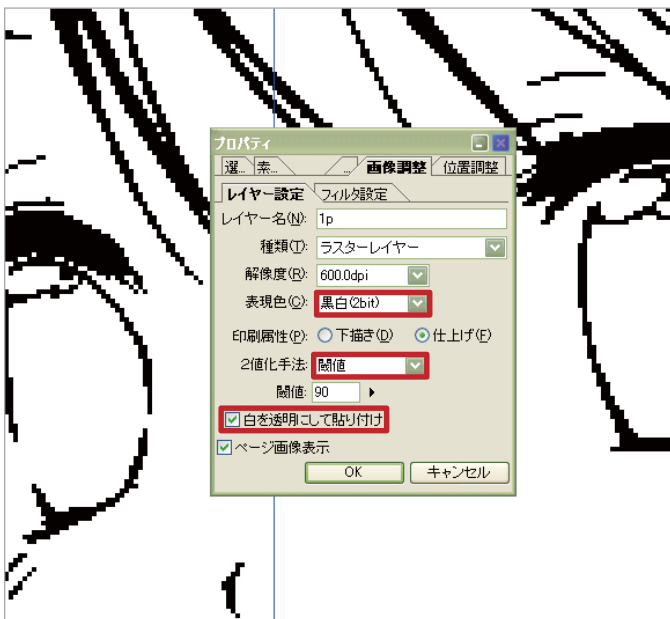


すると、[プロパティ]が開き、このような画面になりますね。




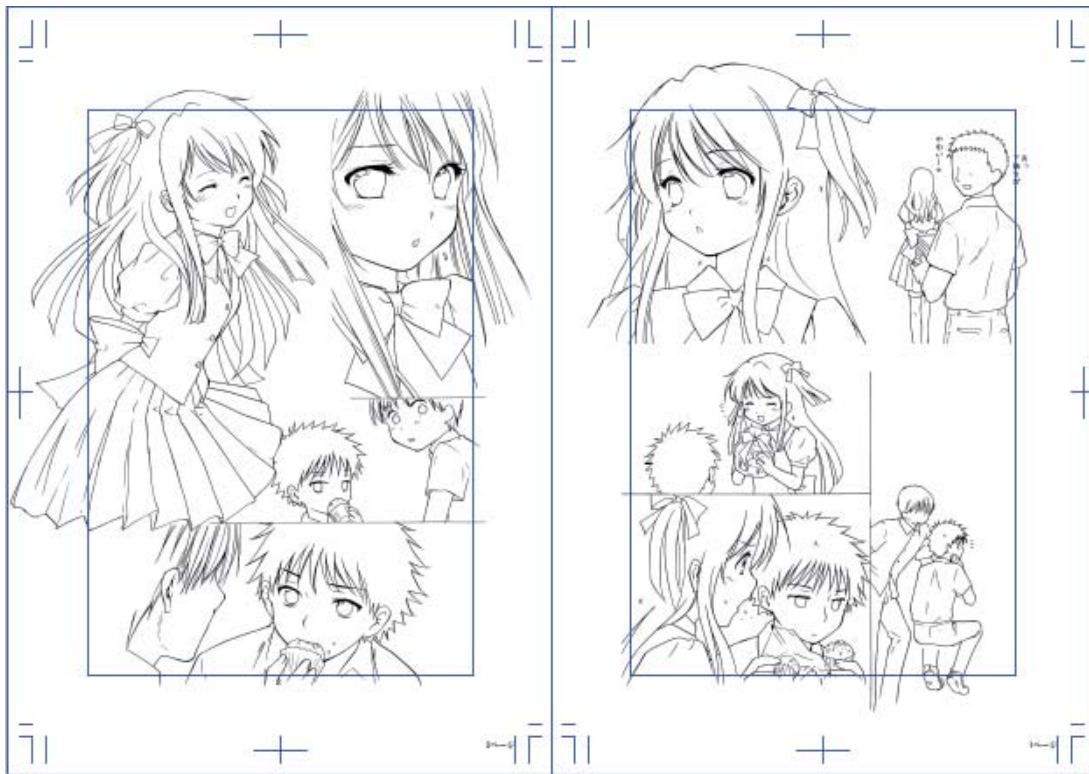
読み込みを確定する前に、読み込みの設定を行います。

プロパティの[画像調整][レイヤー設定]のタブをクリック。下図の設定通りにします。



[表現色]は黒白(2bit)、[2値化手法]は[閾値]を選択し、[白を透明にして貼り付け]にチェックを入れます。設定できたら[OK]で確定します。(細かい設定に関する説明は、今回は省きます。)

その後、レイヤー移動ツールを使って、トンボがコミスタのトンボと重なるよう、調整します。2ページ目も同じように、教材フォルダの「2p-01.jpg」「2p-02.jpg」の2枚を読み込みます。(レイヤーが2枚に分かれている理由は、次回ご説明します。)



このような状態になりました。ここで保存し、次回はこのデータに、枠線やフキダシをいれていきます。



枠線やフキダシが入ると、このような感じになります。
(次回制作予定)

POINT

ご自身で描いたアナログ原稿をスキャン・読み込む際は、「ComicStudioはじめの一步 やっぱり紙も好き!」の講座に、より詳しく書かれています。

▶▶▶ 次回へつづく